

梅若会 緑鷹会 演能会

本日の演目解説

声明公演 九條錫杖・諸天漢語讚

仕舞 遊行柳・唐船・笠之段

舞囃子

連吟

能 楊貴妃

台留

天台宗九州東教区仏教青年会

鷹尾維教・鷹尾祥史・梅若景英

鷹尾雄紀

梅若実桜雪（人間国宝）他

鷹尾章弘・殿田謙吉



令和6年5月26日（日）

会場：大濠公園能楽堂 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園 1-5 TEL 092-715-2155

時間：開演 13:00（開場 12:30）

入場料：大人 11,000 円 高校生・大学生 3,000 円 中学生まで無料

お客様のご意思でお席をお選びいただけるよう全席自由席といたします

チケット予約、公演内容などのお問い合わせ（詳しくは裏面をご覧ください）

株式会社 鷹の会 TEL 092-711-8005 (FAX 兼) MAIL takanokai2017takao@gmail.com LINE

主催：梅若会・株式会社 鷹の会 〒810-0022 福岡市中央区薬院 2-8-5 HP <https://takanokai.jp/>

後援：緑鷹会・緑申会・緑菱会・安藤皮膚科医院・医療法人シーエムエス杉循環器科内科病院・看公税理士法人
(株)ムトー輸送サービス・(株)明治産業・ヤマシタヘルスケアホールディングス(株)・山田工業(株)・医療法人山野皮ふ科医院



鷹の会公式サイト
<https://takanokai.jp/>

梅若会 (うめわかかい)
緑鷹会 (ろくようかい)

演能会

令和6年5月26日(日)
場所 大濠公園能楽堂

第一部

社中の方による発表会
十一時始(入場無料)

連吟

鶴亀
定永尊子
安藤恭子
花田涼子
春日 涼
向坂邦子
花田町子
新谷朋子

竹生島

桑野 啓
牛嶋 泰雄
安藤 謙治
古川 善巳

船弁慶

中島 滋子
太田 耕子
西岡 慶子

船弁慶

山野 龍文
樋口 久人
田代 研児
山下 尚登
山村 晃司
鶴 辰巳
宮原 陸人

仕舞

盛久
山口 春美
坂 真太郎
坂 真太郎
観 世直
角 当隆
松 虫
太田 耕子

第二部

能公演
十三時開演(有料)

はじめに本日の演目をわかりやすく解説します

声明

九條錫杖
諸天漢語讚

椿光寺 山口 弘俊 (大分県豊後高田市)
靈仙寺 青山 恵祥 (大分県豊後高田市)
富貴寺 河野 順祐 (大分県豊後高田市)
靈山寺 高橋 文英 (大分県大分市)
萬福寺 永井 義寛 (宮崎県諸郡國富町)
王樂寺 甲斐 晴恵 (宮崎県宮崎市)

仕舞

遊行柳
鷹尾 維教
唐 船
鷹尾 祥史

笠之段
梅若 景英

舞囃子

熊坂
鷹尾 雄紀

連吟

白坂 正佳
幸 正佳
吉谷 光次
森田 光次
角 当隆
山崎 直隆
梅若 紀彰
鷹尾 維教

杜若

梅若 景英
梅若 実桜雪
梅若 紀彰

能

楊貴妃
楊貴妃/靈鷹尾 章弘
殿田 謙吉
白坂 保正
幸 正佳
森田 光次

休息二十分

坂 真太郎
小田切康陽

鷹尾 雄紀
今村 一夫
馬野 正基
角 当隆
觀 世直
梅若 紀彰
山崎 正道

※出演者が変更になる場合があります

終了予定十六時二十分頃

声明(しょうみょう)とは... 法要儀式に際し、教文や真言に旋律抑揚を付けて唱える仏教声楽曲です。

伝教大師最澄が中国(唐)に渡り日本へ天台の教えを伝えたとともに、声明も伝えられました。これを、体系的に伝えたのは慈覚大師円仁(えんにん794~864)です。その後、良忍(りょうにん1073~1132)により京都大原に声明の道場(魚山ぎよざん)が開かれ、ここを中心に天台声明は伝承されてきました。平安時代には声明と雅楽・舞楽との合奏曲も作られ浄土信仰とも重なり盛んに奏されたといえます。現在でも天台宗ではほとんどの法要に声明は使われ、また舞楽法要などは伝統音楽として、公演公開されています。

九條錫杖(くじょうしゃくじょう)

... 錫杖とは僧侶、修験者の持つ環の付いた杖のことで、元々は山野を修行する時振り鳴らして毒蛇や害獣を払う為の法具です。お地蔵様が持っている杖も錫杖です。九條錫杖には錫杖を持って三宝(仏、法、僧)を供養したり、修行して人々を導くこと、錫杖の音の持つご利益などが説かれています。天台宗では、密教法要の際にお唱えることが多い声明です。

諸天漢語讚(しよてんかんござん)

... 仏教を守護してくださる天部(神々)を賛讃する声明曲です。有名な天部としては、帝釈天、毘沙門天、弁財天など。四拍子の曲で、祈願法要などでよくお唱えされます。

楊貴妃(ようきひ)のあらすじ...

唐の玄宗皇帝お気に入りの妻 楊貴妃(シテ)は絶世の美女だったが、安祿山の乱のとき馬嵬が原で殺された。方士(仙術をつかう者のこと、ワキ)は日夜悲しみに沈み政務も手につかぬ皇帝の命令で妃の魂のありかを捜すことになる。

方士は天井界や地下をもくまなく捜しまわり、いま仙郷の蓬莱山へやって来た。そこはとても広い場所で宮殿があり、宮殿の中からは昔を懐かしむ楊貴妃とおぼしきひとり言が聞こえてきた。方士はその声の主に皇帝からの命を告げると、涙をたたえた顔の妃の姿があらわれ、思い出話を聞かせてくれた。話を聞いた方士は「あなたが楊貴妃であるという証拠が欲しい」というと、妃は玉のかんざしを見せてくれた。しかしかんざしは類のある物で証拠にならないからと考え、皇帝との内緒話を教えてくれるよう求める。そこで妃は「身は馬嵬が原に残り、魂はここに淋しくいても、いつか必ず再びお目にかかりたい」と皇帝に伝えて欲しいと伝言する。方士が帰ろうとすると妃は引き止めて、皇帝との思い出を語りながら名残りの舞を舞う。方士は深く礼をして去っていく。妃はただ一人淋しくこの仙郷に残る。

ご予約・お問い合わせ方法

- ①メール takanokai2017takao@gmail.com
- ②TEL 092-711-8005 (FAX 兼)
- ③LINE 右のQRコードを読み取り 鷹の会能舞台(喫茶あしたか)を 友だち登録してトーク画面からご連絡ください

